

伊勢志摩サミットを契機とした DONET の活用にかかる「三重県」と「国立研究開発法人防災科学技術研究所」及び「国立研究開発法人海洋研究開発機構」との協力協定を締結します。

平成 28 年 1 月 28 日
連絡先
三重県 防災企画・地域支援課 電話：059-224-2184
国立研究開発法人防災科学技術研究所 アウトリーチグループ 電話：029-863-7784
国立研究開発法人海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター 企画調整グループ 電話：045-778-5963
広報部 報道課 電話：046-867-9198

三重県、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下「防災科研」という。）、国立研究開発法人海洋研究開発機構（以下「JAMSTEC」という。）は、三重県が防災科研及び JAMSTEC の協力を得て、地震・津波観測監視システム（以下「DONET」という。）を用いた津波予測・伝達システムの導入を進め、伊勢志摩サミット開催地の安全・安心を高めるための取組に活用するとともに、これを契機とした、システムの三重県南部地域の防災・減災対策への水平展開及び地域住民の防災意識の向上に資する活動などに取り組むため、また、これら一連の取組を通じた調査・研究によりシステムのさらなる高度化を図るため、三者による協力協定を締結します。

また、本取組にあわせて新たに設置した、三重県地震・津波対策アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）の委嘱を行います。

1 協定締結式

【日 時】平成 28 年 2 月 1 日（月） 11 時 30 分から

【場 所】三重県庁 3 階 プレゼンテーションルーム

【出席者】	国立研究開発法人防災科学技術研究所	理事長	はやし 林 春男
	国立研究開発法人海洋研究開発機構	理事長	たいら 平 朝彦
	名古屋大学減災連携研究センター	特任教授	かねだ 金田 義行
	三重県	知事	すずき 鈴木 英敬 ほか

2 協定に基づく連携・協力の内容

(1) 津波予測・伝達システムの構築及び観測情報を用いた防災・減災対策に向けた取組に関する必要な調査及び研究に関する事項にかかる連携・協力

- (2) 住民等への啓発活動及び本取組に係る広報活動に関する事項にかかる連携・協力
- (3) その他本協定の目的を達成するために必要と認めて三者が合意した事項にかかる連携・協力
- (4) 本取組に係る連絡・調整体制を確立するための連絡会の設置

3 三重県地震・津波対策アドバイザーについて

アドバイザーは、DONET を活用した津波予測・伝達システムの運用やその他三重県の地震・津波対策に対して、有識者による専門的観点からの技術的助言等を受けるために設置するもので、今回、名古屋大学の金田義行特任教授に就任を委嘱します。

○本件配布先： 三重県政記者クラブ、
文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会、
神奈川県政記者クラブ、横須賀市政記者クラブ、青森県政記者会、
むつ市政記者会、高知県政記者クラブ、沖縄県政記者クラブ、
名護市駐在3社、大阪科学・大学記者クラブ、和歌山県政記者クラブ、
和歌山県政放送記者クラブ、和歌山県地方新聞記者クラブ、
尾鷲市記者クラブ、愛知県政記者クラブ、名古屋市政記者クラブ、
徳島県政記者クラブ、徳島市市政記者クラブ